



アパートなどへの排水設備工事補助制度は凍結

弥吉治一郎議員

算ラインの考え方について過している。もうすぐ来年は今後の特別委員会で明らかにしたい。度の予算編成だ。早急に検討し結論を出すべき。

地元施工補助制度はいつになつたら発足するのか

新幹線用地の埋蔵文化財発掘は手抜き調査か

問 この補助金制度で市民自らが施工する工事とはどんなものか、また工事への補助率は。
建設部長 道路改良、舗装、側溝の新設などだ。かなりの財源が要るので補助率決定に手間取っている。制度は来年度に立ち上げ実施したい。

問 船小屋付近での埋蔵文化財発掘調査で期間短縮の圧力があつたのでは。
建設部長 期間短縮の話はあつた。
問 調査の期間はどうか。
社会教育課長 12月末までを予定していたが、10月末を目処にした。

問 アパート、マンションへの排水設備工事補助制度は説明会やチラシ配布が7月19日の告示前に実施されている。下水道事業調査対策特別委員会でも審議されていない。
市長 議会に相談しなかつたことは大変遺憾だ。
総務部長 法の効力が発生する以前に実行したことは勇み足だった。執行は凍結する。

問 下水道事業は全所帯が加入しても採算は取れない。事業の採算ラインとは何か。
総務部長 下水道事業の採



団地内の未舗装道路(熊野区) 地元施工補助制度が待たれる

協働のまちづくり推進は

村上知巳議員

問 市民と行政の信頼、共通の認識が重要だが、職員の意識改革について、市長はどう思うか。また人事評価制度の進捗状況は。
市長 心の中で拍手を送るような事もあるが、将来について職員全員が危機感を持つているとは受け止めていない。人事評価制度は19年度中に成案を作成したい。

問 市民と行政との確かな情報の共有が重要だが、的確でない情報で混乱を招くようでは、協働のまちづくりはできぬと思うが、その対応は。
市長 広報ちくごでは反論記事は書きにくい。職員諸君が正しい情報のメッセージジャーになる事を徹底すれば、一定矯正されるのでは。

問 新幹線船小屋駅と県立公園を生かしたまちづくりは
「豊かさを体感する公園の中の駅」がキャッチフレーズで全国初である。それにふさわしい公園整備が必要と考える。鉱泉、温泉、ホテル、桜など地域資源を生かした公園づくりを県へ要望して欲しい。また新幹線開業までに公園建設が完了するよう努力して欲しい。
市長 季節ごとに多くの人が訪れるようなものを考え、開業に間に合うよう、要望する。

問 二大プロジェクトを生かした今後のまちづくりに関して、ヘルシーパル、温泉についての考え方を問う。
市長 ヘルシーパルは、県に公園施設として買って欲しいと要望し、県も検討努力するとの事。温泉も発掘したい。今後は市民の意見を取り入れ、委員会も設置し、周辺自治体とも話し合う。財政をしっかりと考慮し、地域の発展につながるよう努力する。

問 「豊かさを体感する公園

新幹線船小屋駅と県立公園を生かしたまちづくりは



駅前広場(西側) 広場内の道路・植栽などはイメージ